

○近年の飼料価格の高止まりや輸入畜産物の価格低下などを背景に、**畜産農家は厳しい経営状況に立たされている。**

○管内農家が健全な経営を継続するためには、「東京牛乳」「東京しゃも」「東京うこっけい」などの**東京の特産畜産物の生産力強化が課題**となっている。

○普及センターでは、生産力強化のため、乳量増産、乳質向上、自給飼料増産支援、また、東京しゃもについてはブランド化推進と後継者育成支援を、東京うこっけいについては生産体制の強化を支援した。さらに6次産業化の取組を支援し、**収益向上と地域に支持される畜産を目指した。**

具体的な成果

1 酪農家の飼養管理技術の向上

■個々の酪農家の状況、課題に応じた繁殖、飼養管理指導を随時行った結果、乳量増加、乳質向上がみられた。優良乳質が増えたことは東京牛乳の生産力強化に貢献できた。

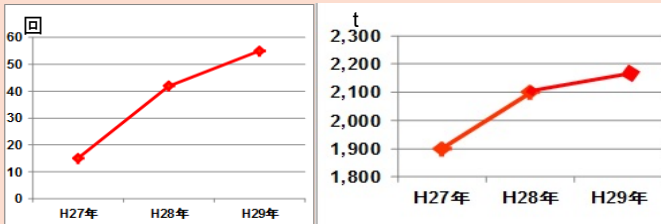


図1 暑熱期(6~9月)の優良乳質認定回数の推移
(体細胞数20万/ml未満が認定要件)

図2 年間合計乳量の推移
(牛群検定組合員8戸合計)

2 特産鶏の生産力向上

■東京しゃもの市場拡大支援、飼養管理指導により、GI認証の取得、生産羽数の拡大と後継者2名の育成ができた。

3 ジェラート加工販売施設の開設

■畜産物の付加価値向上(6次産業化)に向けた取組として酪農家を指導。関係機関と連携しながら必要な許認可要件をクリアし、さらに補助事業等を活用して、平成30年5月にジェラート加工販売施設の開設に至った。

普及指導員の活動

■牛群検定データを基に、空胎日数の長い農家には、適切な発情発見、適期授精の励行などの**繁殖管理指導**を行った。

また、農家の状況に応じて飼料設計の提案を行うとともに、**飼槽や牛床等の衛生管理を強化**し、乳牛の口や乳頭から侵入する恐れのある病原微生物を低減させる指導を行い、**乳質改善を図った。**

■東京しゃものブランド化を推進するため、生産組合の地理的表示(GI)の認証取得に際し、**申請・審査に関する助言、生産工程管理の支援**に取り組んだ。

また、後継者に対しては都の後継者育成制度を活用し、育雛をはじめとする飼養管理技術に関する指導を行った。

■ジェラートの加工販売を希望する酪農家に対し、家族経営協定の締結、活用可能な補助事業や必要な許認可、他県の事例等の情報提供を行った。また、計画段階から**普及センターが中心となって戦略会議を行い**6次産業化の成功に向けて町役場、JA、保健所等と連携して取り組んだ。

普及指導員だからできたこと

・6次化に対して、**関係機関と連携し、法令関係や衛生指導などの指導**を行った。この事例により、今後管内畜産農家から普及センターに対し期待が寄せられている。

東京都

西多摩地域における特産畜産物の生産力強化

活動期間：平成27年度～令和2年度

1. 取組の背景

西多摩地域における畜産経営は都市近郊の特色ある経営を行っているが近年の飼料価格の高止まりや輸入畜産物の価格低下などを背景に、厳しい状況に立たされている。健全な経営を継続するためには、「東京牛乳」「東京しゃも」「東京うこっけい」などの東京の特産畜産物の生産力強化が課題となっている。

2. 活動内容

牛群検定データを基に、空胎日数の長い農家には、適切な発情発見、適期授精の励行などの繁殖管理指導を行った。

農家の状況に応じて飼料設計の提案を行うとともに、飼槽や牛床等の衛生管理を強化し、乳牛の口や乳頭から侵入する恐れのある病原微生物を低減させる指導を行い、乳質改善を図った。

東京しゃものブランド化を推進するため、生産組合の地理的表示（GI）の認証取得に際し、申請・審査に関する助言、生産工程管理の支援に取り組んだ。

また、後継者に対しては都の後継者育成制度を活用し、育雛をはじめとする飼養管理技術に関する指導を行った。

ジェラートの加工販売を希望する酪農家に対し、家族経営協定の締結、活用可能な補助事業や必要な許認可、他県の事例等の情報提供を行った。また、計画段階から普及センターが中心となって戦略会議を行い6次産業化の成功に向けて町役場、JA、保健所等と連携して取り組んだ。

3. 具体的な成果

1 酪農家の飼養管理技術の向上

■個々の酪農家の状況、課題に応じた繁殖、飼養管理指導を随時行った結果、乳量増加、乳質向上がみられた。優良乳質が増えたことで東京牛乳の生産力強化に貢献できた。

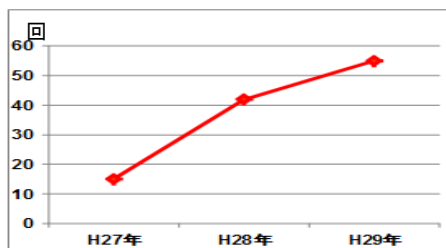


図1 暑熱期(6～9月)の優良乳質認定回数の推移
(体細胞数20万/ml未達が認定要件)



図2 年間合計乳量の推移
(牛群検定組合員8戸合計)

2 特産鶏の生産力向上

■東京しゃもの市場拡大支援、飼養管理指導により、GI 認証の取得、生産羽数の拡大と後継者2名の育成ができた。

表 東京しゃも出荷羽数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
出荷羽数	22,600	23,200	25,600

3 ジェラート加工販売施設の開設

■畜産物の付加価値向上（6次産業化）に向けた取組として酪農家を指導。関係機関と連携しながら必要な許認可要件をクリアし、さらに補助事業等を活用して、平成30年5月にジェラート加工販売施設の開設に至った。



図3 ジェラート店開設打ち合わせ



図4 開店したジェラート店

4. 農家等からの評価・コメント（瑞穂町酪農家）

計画的な普及センターの支援により、搾乳ロボットによる省力化とジェラート経営を導入することができ、酪農経営の向上が図られた。他県の事例情報など普及センターだから得られた情報があり、大変感謝している。これからも法令関係や衛生管理など幅広く指導いただきたい。

5. 普及指導員のコメント

（西多摩農業改良普及センター 主任普及指導員 舛屋浩二）

西多摩地域は、東京都における都市型畜産の代表である。当普及センターは環境問題やブランド化など付加価値向上に努めてきた。今後も畜産物の特産物化などを推進し、管内畜産農家の経営向上を図っていきたい

6. 現状・今後の展開等

牛群検定農家を主体に検定情報を活用し、酪農家の飼養管理技術の向上を進める。東京しゃもは肥育技術の改善により、肉質改善を図り一層のブランド強化を支援する。